

狀  
不  
報  
告

昭和二十七年五月十九日  
步兵第三十六聯隊第三大隊



第一 軍紀風紀

將校以下戰局、緊迫ト部隊任務、重大性ト深刻ニ自覺シ且  
光輝アル

軍旗、許百戰百勝、部隊傳統ヲ繼承スルノ重責ヲ銘肝シ  
熾烈ナル尊皇精神、許神州不滅必勝、信念ヲ堅持シ凡有因  
苦缺乏ニ堪、部隊長殿、御意圖、顯現ニ努カシ晝夜兼行  
戰鬥準備ニ邁進シ黙々實行任務完遂ニ奮勵シアリテ軍紀  
風紀ハ極メテ嚴正ニ維持セラレ良好ナリ但シ向辺ノ環境ノ服裝、  
不備等ヨリシテモ營ニ在ル時ニ比シ兵ノ敬禮服裝態度稍嚴  
正ヲ欠クモナルヤラ聞クモ其ノ都度嚴ニ教育セシメ改善向上シ  
ツナハリ 著島以來軍民間ニ風紀問題惹起セルコト皆無ニシテ  
此ノ良極メテ良好ナリ

以上ノ如クナルモ念々指導ヲ監督ヲ嚴シシ鐵石ノ團結ヲ固成シ以テ  
將來之カウ元壁ヲ期シナリ

## 第二 教育

昭和十九年度徵集初年兵及補充兵在滿當時入隊直後ヨリ大隊独立シテ各種演習實施シ、第一期教育、大部未完ニシテ進駐セリ故ニ教育訓練ノ不備ニ関シテハ最モ苦慮セル所ナリ、著島第二期以降ニ於テハ寸暇ヲ利用シテ行フ教育、外計畫的ニ之ヲ教育ヲ實施シ訓練ノ向上ヲ期セリ

特ニ戰訓ヲ基調トスル現地即應ノ教育即チ對戰重戰闘及挺身斬込戰闘法ヲ重視シ、人ヲ殺シ敵軍ノ精神挫技術演練ニ努ムル結果現在ハ進歩向上ハ殊顯著ニシ、陣地構築、進駐ト夫、本島守備、口實ヲ期スルニ致セリ

各種增加兵器教育及試驗射撃等ハ全部完了セリ

### (一) 一般教育

第四期以降特ニ教育訓練ヲ重視シ、毎週金曜日、部隊演習日ト定メ、現地即應ノ基礎訓練ヲ進メ、第五期前半

ハ上司ノ指示ニ基テ戰訓ヲ基調トセル本島防禦ノ特性ニ鑑ミ、中隊教練以下、基礎訓練ニ徹シ、第六期ハ研究演習ニ基テ綜合訓練ヲ實施セリ、此間地區隊演習ハ陸海兵協同ニ行フ實施シ、其ノ成果既ニ報告セシ、如ク所期ノ目的ヲ達シ得ナリ

### (二) 幹部教育

第四期以降小隊長以下ニ對シ本島防禦ノ特性ニ基テ戰闘法及指揮法ニ就テ各隊毎ニ教育演練セシムルト共ニ第五期中旬陸海將校ニ對シ米軍戰闘ノ特質ノ普及及本島防禦戰闘ノ兵棋教育ヲ實施セリ

第六期ハ本島防禦上ノ重要ナル事項ニ就キ幹部ニ對シ研究課題ヲ附與シ、其ノ研究ニ基テ普及教育ヲ行ヒ、其ノ成果見ルルハモ、モ、アリタリ

### (三) 兵教育

ノ本業教育

昨年十月現地入隊初年兵三八名ヲ迎ヘ大隊砲小队ニ編入シ  
約三月間ニ恒ル基本教育ヲ練成養育ヲ終リ現在ハ去年  
次兵ニ係リテ戦闘ニ支障ヲ認メズ其ノ成績既ニ報告セル如ク  
ニシテ概ネ良好ナリキ  
ス 特業教育

上司ノ指示ニ基キ各區分毎ニ十一月下旬ヨリ開始セリ 教育中  
狀況ニ依リ一時中止シタルモ概ネ順調ニ進ミテ完了セリ  
成果ハ其ノ都度報告済ニシテ概ネ良好ナリキ

### 第三 内務ノ履行

着島以來鋭意陣地構築ニ教育訓練ニ重點ヲ指向セル爲  
兵舎設備ノ充分ト謂ヒ難ク各隊各製糖工場及女子校或ハ舎  
宅ヲ改造セル假兵舎ニ棲息シタル結果内務ノ施設ハノ様ナラス  
極メテ不整ナリ 本甲斐戦備下令以降全部洞窟ニ棲息シタル  
爾後ハ洞窟兵舎ノ建設ニ力カシマリ 然共幹部ノ率先垂範ト

兵士自覺ニ依リ教育ノ進歩ニ大ニ努メテ内務ノ履行ハ概ニ  
良好ナリ

### 第四 陣地構築

北大東島守備隊ヲ要シ其ノ上ヨリ御指示茲ニ戦訓ヲ基調トシ  
本島特異ノ地形ヲ敵攻的ニ利用シ戦闘準備ノ完備ヲ期シマリ  
本島陣地ノ特色左記ノ如ク

#### 左記

一 堅固ナル潜陣地ノ構築

潜陣地ハ如何ナル砲撃ヲ堪ヘ且比較的長時日ノ生存ニ適  
スル如ク構築シ現在迄ハ陣地ニテ砲陣地六ヶ LG陣地三四ヶ  
計四ヶ陣地完成セリ之ヲ本島全周ニ材料首尾定ニ三百米  
ニテ陣地第一線四ヶ中隊トシ二ヶ中隊約一〇ヶ陣地ノ割合ト  
ナレモ更ニ部隊長殿ノ御意圖ヲ奉シ潜陣地ノ完壁徹底的強  
化ノ爲リ今則計畫ハ之ヲ要點ニ重點ヲ潜陣地ニ指向シ現在並自チ

中津陣地ハ一岨陣地ニシテ、岨陣地ニシテガ陣地也。岨ニシテ陣地ニシテ計ハ陣地ナリ更ニ挺進シテ各地區ニ門今迄水際ニ進ミ置キシメ舟艇射撃ヲ準備シテナリ右陣地ハ完成ハ六月中旬ト豫定シナリ

本島諸岩礁地帯ハ強度ヲ大別スレバ西半部ハ岩石地帯ニシテ比較的上陸困難ニシテ又堅固ナル陣地ニ好適地多キモ、之ニ反シ東半部ハナクアラクニシテ上陸ニ容易且堅固ナル陣地構築ニ適スル地少ク最モ苦慮シテ所ナシニテ數ト偽裝ニ依リテ備ヲ補ヒ敵擊ヲ減シ信心ヲ堅持シナリ

### 主陣地帯

主陣地帯ハ徹夜セル岩石利用或ハトーチカ式陣地ニシテ射向ハ側背射ニ徹シテ主要陣地ハ大部分ハ洞窟式又ハ洞窟連接式陣地ヲ既ニ完成シタルハ、洞窟百米坑道式陣地ナリ  
各中隊共右主要陣地ヲ核心トスル堅固ナル據點陣地構成概

### 成シナリ

岨金山複廓陣地ハ他陣地ニ比シテ米々壁ノ域ニ達シ非ヤルモ遂次進捗シナリ

### 海軍陸戰陣地

海軍各隊今期ハ陸戰陣地構築ニ努リテ強度其他十分トハ謂ヒ難キモ概成ノ域ニ達シナリ  
地下施設

地下施設ハ資材其他ノ關係上十分トハ謂ヒ難キモ人員ハ陸海兵(全員)博息、軍需品悉皆格納シテ支障ナキ迄ニ了スセリ

### 第五 兵器彈藥ノ整備

精神教育ニ就テ  
戦局、緊迫ト兵器資材、補給困難且不足ノ現況ニ鑑ミ凡有時機ヲ捉ヘテ兵器彈藥、重要ニ保護心ノ涵養食ニ努メタル結果其ノ成績ハ概不良好ナリ

ニ保管格納ニ就テ

本島特異ノ氣象ニ鑑ミ防濕ニ関シテハ最モ甚慮セテ所ニシテ  
各隊長以下係ヲミテ特ニ検査手入ヲ勵行セシメアリ  
又敵ノ砲爆撃ニ對シ徹底的損耗防止手段トシテ分散地下  
格納ニ徹シ現在部隊全所有敷地下洞窟ニ格納完了シアリ  
現在其ノ狀況ハ良好ナリ

ニ隊ノ生理・狀況

軍用ニ大支ニ出テ備極ノ注意ヲ計。則チ戰力ノ培養  
ニ戰術ノ高進ニ努メテ期スアリ  
一糧秣

酒給三庄ノ現況。食ニ至食ノ喰進ニ事ニ敵受スレ  
共ニ現地物ヲ以テ長クニ用ルル旨ニ注意努メリン  
計ニ及ビテ現況ニ又現在標行補給カラレノ  
乾物類ノ貯蓄地ヲ指定シ用テ最禁ルル現地物  
賣ルル旨ニテ用ルル。一在食ニ用ルル植付ノ  
部隊前系量ニ至テ滋養植付。終リテモ未ク收  
獲皆無。一未月上旬迄ハ無收量ナレハ  
副食

獸肉給養。現地ト。一週一回ノ標準トシテ肩後

給食に必要なる材料は、給食の分量約一三〇。五〇リ、然レ共  
最近之。類数減低。未レ為。補存。努力。極力。肩  
負。担。担。担。

奥肉。能。米。食。意。努力。之。所。ハ。天。候。不。定。  
。左。右。レ。レ。事。大。レ。関。係。上。状。况。緊。迫。不。負。担。  
。僅。少。レ。レ。ハ。ハ。天。候。不。定。素。質。不。良。レ。レ。為。未。タ。充。分。  
。レ。給。養。ノ。實。施。得。ス。レ。打。刺。策。一。手。現。在。奥  
。舟。製。作。澳。夫。指。導。計。画。實。施。中。リ。將。来。  
。六。力。以。テ。澳。夫。努。力。ノ。確。定。ナ。リ。現。在。島。民。所。有  
。奥。舟。三。部。隊。製。作。回。更。ノ。計。画。中。リ。  
。土。野。菜。給。養。ノ。現。在。定。量。給。養。困。難。ナ。リ。  
。不。定。ノ。雜。草。其。他。採。取。依。リ。補。充。ナ。リ。然。レ。共。甘  
。請。收。獲。可。能。ト。シ。十。分。リ。  
。加。給。品。給。養。ノ。関。シ。テ。守。備。隊。糧。秣。業務。處。理。要。領

米。之。庄。之。採。集。一。反。リ。加。給。ナ。リ

通。商。一。回。通。每。一。回。一。回。付。リ。一。立。以。内

運。送。一。回。付。リ。一。立。以。内

米。味。油。一。回。付。リ。一。立。以。内

二。收。服

運。送。補。給。能。力。確。保。被。服。資。源。ノ。洋。也。日。夜。兼。行  
。下。米。訓。練。補。給。計。画。不。足。依。リ。被。服。資。源  
。甚。ク。之。程。度。維持。上。給。服。最。モ。音。分。用。ヒ。レ。所。ナ  
。極。力。地。地。均。資。手。計。画。努。力。ナ。リ。現。在。送。部。隊。一。手  
。之。計。策。實。施。事。項。ト。シ。如。シ

左 記

被。服。補。修

會。社。販。賣。若。干。所。有。ナ。リ。常。布。一。流。用。一。現。在

會。社。販。賣。若。干。所。有。ナ。リ

ス、マ、タ、リ、利用、運、衣、袴、ハ、腎、膏、膝、高、之、高  
吉、能、下、襟、布、利用  
テ、前、而、外、各、類、者、利用  
腹、各、一、部、利用  
端、上、靴、地、下、足、袋

端、上、靴、地、下、足、袋、使、用、之、極、力、之、避、ク、現、地、物、資、  
依、ル、草、袋、草、鞋、下、駄、作、製、使、用、セ、ン、之、代、  
用、敵、後、期、ニ、リ、其、成、果、見、ル、ヘ、モ、ア、リ  
地、下、足、袋、ハ、幸、ニ、テ、會、社、於、テ、鑛、山、從、業、員、用、ト、テ、  
若、干、確、保、セ、レ、ア、リ、タ、ル、為、約、五、〇、〇、足、購、入、現、在、各、隊  
毎、戰、時、用、ト、テ、約、半、數、以、上、新、品、ヲ、整、備、セ、リ  
三、襟、布、靴、下、各、人、戰、用、ト、テ、各、一、石、餘、四、月、分、確、保、シ、  
テ、リ

### 三、消耗品

消耗品ハ現在極度ニ不足ヲ來シ、之ガ打開策トシテ徹底トシテ費  
護節約ト創意工夫ニ努メ、然共原故復舊寫紙、現在手  
持量皆無ニシテ且テ手付道、全ク補給ニ待、ト、外、キ、急、補  
給困難ノ状況上、現在將來共最モ苦慮シ、タル所ナリ

### 四、自治

守備隊現地自治計畫、則リ全島自治態勢ノ萬全ヲ期シ、タリ  
自治ノ重點ハ兵ク自治ヲリ、着、心、カ、整、備、擴、張、ニ、努、メ、タ、リ  
又地方民ヲ指導、督勵シ、テ自治ヤ、メ、テ、モ、將、來、民、例、糧、秣、補、給  
ノ困難、地方民權、休、現、有、所、得、數、ト、考、メ、ル、時、地、方、ヨ、リ、軍、  
納入ハ不可能ナルハ、シ、ト、推、測、シ、タ、リ  
ノ生野菜ノ自治

本島地形、天候、氣象、ノ關係上、蔬菜類ノ自治ハ、甘藷ヲ除外シ  
極メテ時機的ニ困難ニシ、テ一度颱風來ラ、シ、全島海潮ニ依リ、植物  
枯死シ、テ皆無トナリ、冬、枯、如キ博慘ヲ呈スルヲ以テ、大部、蔬菜



類手得時期ハ一五月間あり現在耕作面積約三五町歩あり  
 シテ種播植付完了シヤルモノニ三町歩各隊概ネ三町歩余あり  
 栽培品目ハ甘藷豆類ヲ主トシ麥蔬菜類ニ次ク特異ノモ  
 ノトシテハ比較的の海潮ニ強キ水芋 雲菜ヲ濕地帶ヲ利用シ裁  
 培スル外食用通 雜草ノ海岸ノソバノ草ニ味糖草  
 山芋 何レモ現地名ノ栽培種ニ于得シ努力カシアリ 併セテ種子ハ  
 收穫ヲ計画實施中ヤルニ種類依リテ困難ナルモノ少シトス  
 將來其種子ノ補給ハ切望シヤリ  
 家畜ノ自治

ニ依ルモノ

- 牛 二四頭
- 豚 一五頭
- 山羊 一三頭

家畜ノ増加ニ重點ヲ指向シ鶏ハ現在養育效果ヲ擧ゲテ

鶏 約五〇羽

此ノ外山民ラシテ人園ニ自シムコリ  
 其ノ他

食用酢人良塩等ノ自治ハ着々成果アリ木炭糖酒牛皮味噌  
 等ノ自治ヲモテ可思シルモ資材ノ關係ヲ大ナル成果期ニ難ク  
 南島ヨリノ自治製品補給ヲ受テアレ状態ナリ

第七 保六町衛生

一保育

上陸以來各種ノ不健康ナル患感作ヲ受ケルモ幹部以下ノ旺盛ナル  
 ルト乳ト周到ナル保育實施ニ依リ良好ニ將校以下ノ健康ヲ維  
 持シヨリ特ニ保護兵ヲ選定シ之等ニ牛乳菓養食牛豚ノ臟物  
 ヲ給養シ増健ヲ圖リアリ

二衛生

本島ノ衛生状態ハ概ネ良好ナルモ島民ノ衛生思想特ニ防疫思

類、手得時期ハニ一五月間、現存耕作面積約三五町歩、  
 シテ種播植付完、アールモ、ミロ町歩各隊概ネ三町歩余ナリ  
 或、培苗目ハ甘藷豆類ヲ主トシ、麥、蔬菜類ニハ次ヲ特異シモ  
 ノトシテハ比較的、海潮ニ強キ水芋、粟菜ヲ濕地帯ヲ利用シ、裁  
 培スル、外食用適、雜草ノ海岸ナシ、パン、草、ニ味線草、  
 山芋、何モ現地名、裁培草ニ手得、努力カシマリ、併マテ種子、  
 收穫ヲ計画實施中、アールモ種類ニ依リテ困難アルモ、少シトモ、  
 將來其種子、補給ヲ切望シマシ

ニ依ルモノ  
 家畜ノ増加ニ重點ヲ指向シ、鶏ハ現在養育效果ヲ譽テ、アールモ力  
 家畜ノ増加ニ重點ヲ指向シ、鶏ハ現在養育效果ヲ譽テ、アールモ力

- 牛 二四頭
- 豚 一五頭
- 山羊 一三頭

鶏 約五〇羽

此外、山民ヲシテ、飼育アルモノアリ  
 其、他

食用、昨、入、良、塩、等、自、活、ハ、首、成、果、アリ、木、炭、糖、酒、牛、皮、味、噌  
 等、自、活、ヲ、モ、可、思、シ、ル、モ、資、材、ノ、関、係、ヲ、大、キ、ル、成、果、期、シ、難、ク  
 南、島、ヨ、リ、自、活、製、品、補、給、ヲ、受、ケ、ル、狀、態、ニ、ア、リ

第 二 保 育 及 衛 生

ニ保 育  
 上陸以來各種ノ不健康ノ患感作、受ケルモノ、幹部以下ノ旺盛、  
 ル士、乳ト尙、到、ト、ル、保、育、實、施、ニ、依、リ、良、好、ヲ、將、校、以、下、ノ、健、康、ヲ、維  
 持、シ、テ、特、ニ、保、護、ヲ、受、ケ、テ、選、定、シ、テ、等、ニ、牛、乳、菜、食、牛、豚、ノ、臟、物  
 ヲ、給、養、シ、増、進、ヲ、圖、リ、ア、リ

ニ衛 生

本島ノ衛生状態ハ概ネ良好ナルモ、島民ノ衛生思想特ニ防疫思

想ハ低カシテ之ヲ指道サシハ意ヲ注ギテ

部隊ハ特ニ傳染病結核患者ノ發生防止ニ慮外傷ヨル損耗  
防止ニ努メカシキル處ニシテ上陸以來傳染病患者發生ナシ  
結核患者七名不慮外傷患者四名ニシテ良好ナリ

尚本戰備下令以來特ニ傳染病發生防止ニ銳意努メカシキル  
處ニシテ次ノ四ノ條ヲ嚴守勵行シヨリ

一 蠅ノ撲滅

二 衛生厠ノ設置(糞壺蛆侵入防止シタルモノ)

三 手指消毒

四 早期受診

五 患者ノ狀況

本戰備下令後戰傷一名FL入院三名入室毎日平均六名ナル患者  
發生狀況ナリ 尚向後長期ニ亘ル洞窟生活ノ人体ニ及ボス影響大ナ  
ルヲ以テ簡單ナル傷寒家屋等ヲ建築シ患者ノ除去ニ努メヨリ

### 第八 民間係事項

部隊進駐當時在島民約二千名ナリシモ爾後數次ニ恒ル引上テ  
依リ現在七百九名ニシテ其ノ主力ハ會社従業員茲ニ採ト夫關係  
ナリ 島民素質ハ南島々民ト大差アリキモト思考シタルモノ一般ニ知  
識程度低ク國家觀念及時局認識ハ深刻ナラザルモノ少シトモズ  
部隊ニ於テハ之ヲ画期的向上ノ企圖シ時局講和軍事教練等備  
會報等ヲ實質ニ施セシ所漸次良況ニ向ヒマアリ 然共最近狀況ノ  
緊迫ニ伴ヒ連日敵機ノ來襲或ハ島民食糧缺乏等ニ依リ一部  
在島民ヲ除キテハ軍ニ對スル協力從來ニ比シ消極的ナリ  
現在ハ先般ノ御指示ニ依リ義勇團ヲ編成シ素質ノ向上ト團結ノ  
單化ヲ圖リ全島一丸戰鬪態勢ヲ單化ニ努メヨリ

### 第九 海軍關係

陸海將兵共ニ與ニ一體トナリ皇土防衛ノ最前線ニ在ル 現下戰  
局ヲ深刻ニ認識シ相互ノ協調極メテ親密ニシテ良好ナリ

又戰備ニ関シテモ一部ヲ除キ戰鬪準備完了ニ陸海現地協定モ  
 具體的ニ定結シ全島ニ體戰力化セリ  
 北大東島海軍細部事項左記如シ

左記

兵力

派遣隊長以下 五一五名

將 校 一八名(内ニ名出張中)

三編制裝備

編制

高角砲隊 三隊

平射砲隊 二隊

迫撃砲隊 二隊

高射機銃隊 一隊

照空隊 一隊

見 張 一隊

ニ裝備大要

十二種高角砲 一門

十二種平射砲 二門

八種平射砲 一門

迫撃砲 二門

機銃 一門

機銃 一門

機銃 一門

其他部隊備小銃若干アリ

陸軍沿海陣地設備ノ爲海軍ヨリ借用兵器

25mm MG 二門 13mm MG 二門 27mm MG 四門

但シ夫々陣地構成時ヨリ借用ス

之ヲ要シヌルニ以上ノ如ク不備ナル點少シトセザルモ第二大隊將兵

2400C.28 1-1	図書名 状況報告	保管番号 ①NO.158	1.26.2.29
	受入年月日 26.2.27	数量	摘要
和・洋 一復・二復	備考	発行年 1925	頁数 大きさ
著者名 歩兵第26聯隊大隊長			
発行所			
使用者 所 階級	氏名	付返納 年月日	受領者印
	伊藤常興	91.2.1	

沖  
沖 繩  
204

沖  
沖 繩  
204

月 日迄  
貸出中  
著者及書名  
状況報告  
歩兵第26聯隊大隊長  
年 番

一同榮光深然武勳赫々タル軍旗ヲ奉シ部隊長殿、御統率ノ許々懇々鐵石ノ團結ヲ固成シ積極奮闘 堅忍心持テ戰々ノ實行ノ闘志ヲ昂揚シ部隊ノ一翼トシテ心々々々嶮敵ノ者ニ織成シ部隊傳統ニ段々光華ヲ添ヘルト共ニ皇國ヲ奉山ノ安キニ道カントヲ誓ヒ奉ル

昭和二十年五月十九日

歩兵第三十六聯隊第二大隊長

須永力之助